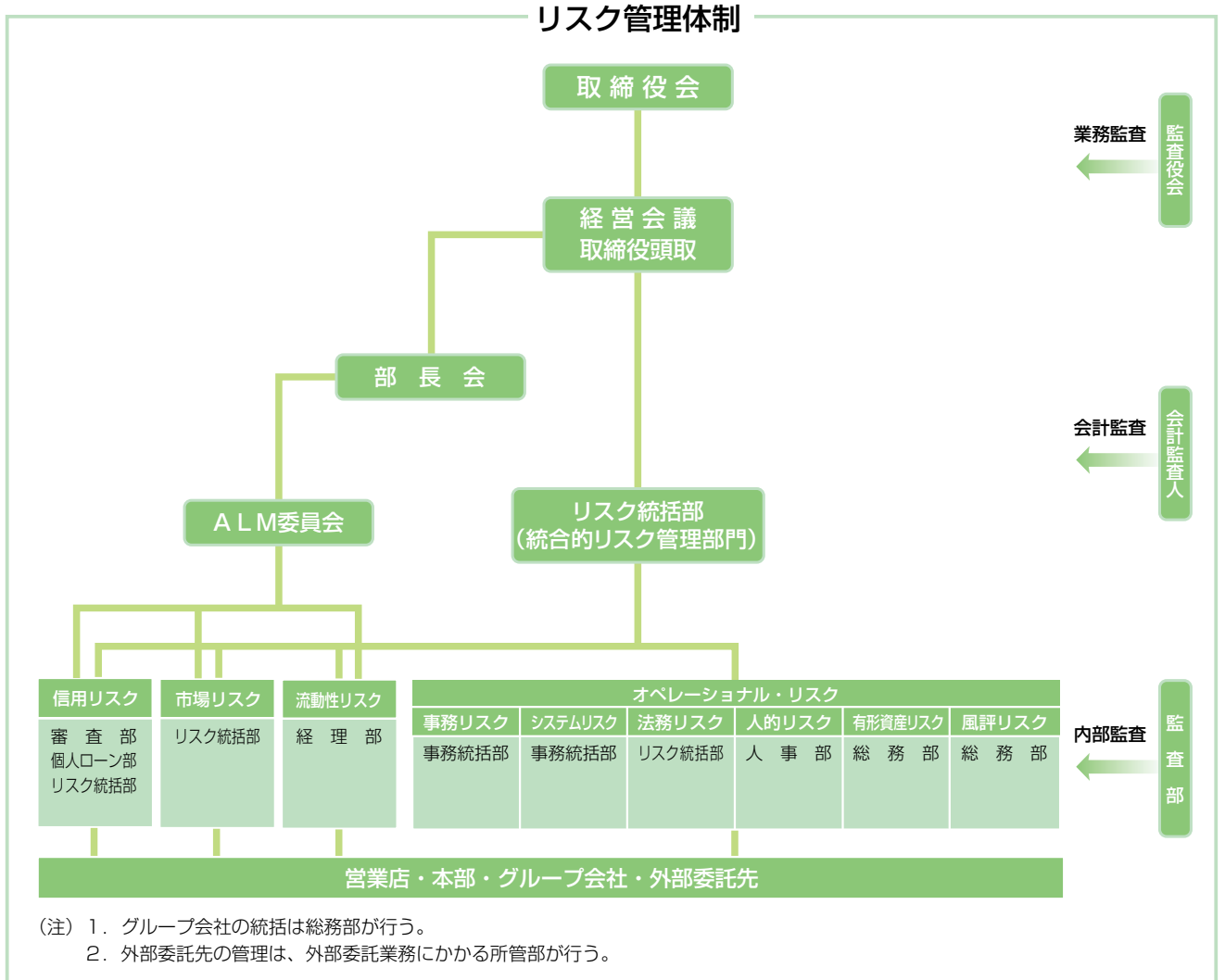


リスク管理態勢

当行では、リスク管理を経営の安全性・健全性を維持するための最重要課題として位置付け、リスク管理態勢の強化・充実に取り組んでおります。



■ 統合的リスク管理

銀行業務には、信用リスク、市場リスク、流動性リスク、オペレーショナル・リスクといったさまざまなリスクが存在しております。

当行は、業務やリスクの特性に応じて、リスクごとの管理を適切に行うとともに、リスクを総体的に捉えて経営体力（自己資本）と比較・対照するなど、統合的なリスク管理に取り組んでおります。

〔リスク資本配賦〕

当行では、統合的リスク管理の枠組みの一つとして、より効率的な資本の使用を通じた健全性の確保、収益性・効率性の向上を実現するため、リスク資本配賦制度を導入しております。

具体的には、自己資本から自己資本比率4%を維持する水準の自己資本を控除した金額の範囲（リスク許容限度）内でリスクの種類別にリスク資本の配賦を行い、VaR（バリュー・アット・リスク）などにより計測したリスク量（潜在的な最大損失）を配賦リスク資本の範囲内にコントロールすることにより、経営体力を超えてリスクを取り過ぎないよう管理しております。

〔信用リスク管理〕

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、貸出金などの資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいいます。

当行では、信用リスクの評価にあたっては、お取引先の財務状況のみならず、成長性や償還能力などを総合的に判定する「信用格付」を実施するとともに、審査部門が「信用リスク管理方針」等の内部規定に従い、厳格な審査を実施しております。

また、信用リスクの管理にあたっては、「信用リスク情報統合サービス（CRITS）」を活用して信用格付区分毎のリスク量を把握するとともに、特定業種、特定グループに対する過度な与信集中を排除するため、与信枠を設定するなどしてリスク管理の強化に努めております。

さらに、自己査定により信用リスクをモニタリングし、適正な償却・引当を実施することにより、資産の健全性を堅持しております。

〔市場リスク管理〕

市場リスクとは、金利、有価証券の価格、為替等のさまざまな市場の変動により、保有する資産・負債の価値が変動し損失を被るリスク、および資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクをいいます。

当行では、定期的開催する「ALM委員会」において、金利リスク、価格変動リスク、為替リスク等についてリスクの計量・分析結果の報告を受け、リスク管理の適切性等について協議を行っております。

また、統合的リスク管理において配賦されたリスク資本の範囲内にリスク量をコントロールするなど、安定的な収益の確保とリスク管理の高度化に努めております。

〔流動性リスク管理〕

流動性リスクとは、資金の運用と調達 mismatches や予期しない資金の流出等により必要な資金確保が困難になる、または、通常よりも著しく高いコストでの資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク、および市場の混乱等により通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクをいいます。

当行では、資金の運用・調達状況を日々把握し、資金ポジションの適切な管理を行うとともに、保有資産の流動性確保や調達手段の多様化を図るなど、流動性リスクの管理に努めております。

また、「危機管理規程（緊急事態発生時における業務継続計画）」、「流動性危機時対応要領（総則）」、「流動性危機時の資金繰りマニュアル」を定めるなど、不測の事態に対応できるよう万全を期しております。

〔オペレーショナル・リスク管理〕

事務リスク管理

事務リスクとは、正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を引き起こすことにより損失を被るリスクをいいます。

当行では、現金、重要印刷物、重要鍵および重要印章などの重要物の取扱いに係る事務の厳正化を図るとともに、事務処理については、相互牽制を基本とした事務取扱要領や「事件・事故防止対策」を定めてチェック体制の強化を図っております。

また、事務の堅確化と事故の未然防止に重点を置き、事務リスク管理状況について、内部監査および自店検査を実施しております。

システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータシステムの故障、誤作動、不備、またはコンピュータシステムが不正に使用されることにより損失を被るリスクをいいます。

当行では、基幹システム（勘定系・対外系）の運営・管理を外部へ委託しておりますが、遠隔地にバックアップセンターを確保するなど、委託先と共同でシステムの安全対策を実施するとともに、システムリスクの管理強化のため委託先に対し定期的にシステム監査を実施しております。

また、当行では、コンピュータシステムの各種機器やオンライン回線を二重化するとともに、万一の事故や大規模災害・重大インシデントの発生に備えてコンティンジェンシープランを策定し、全店一斉訓練を実施するなどして万全の態勢で臨んでおります。

法務リスク管理

法務リスクとは、お客さまに対する過失による義務違反や不適切なビジネス・マーケット慣行等から生じる法令・契約等違反、不適切な契約締結、その他法的原因により損失を被るリスクをいいます。

当行では、「法令等遵守規程」、「法務リスク管理規程」等を定めるとともに、顧問弁護士等の外部専門家と連携したリーガルチェックを実施するなど、法務リスクの回避・軽減に努めております。

人的リスク管理

人的リスクとは、役職員の人事運営上の不公平・不公正（報酬・手当・解雇等の問題）から生じる労務問題、差別的行為（セクシュアル・ハラスメント等）により損失を被るリスクをいいます。

当行では、「人的リスク管理規程」、「就業規則」をはじめ、「セクシュアル・ハラスメント防止規程」、「パワー・ハラスメント防止規程」等を定めて態勢を整備するとともに、役職員に対する研修・教育により、人的リスクの抑制に努めております。

有形資産リスク管理

有形資産リスクとは、災害、犯罪または資産管理の瑕疵などにより、当行が保有する有形資産が毀損・損傷することにより損失を被るリスクをいいます。

当行では、さまざまな事故や災害に備え、「危機管理規程（緊急事態発生時における業務継続計画）」、「有形資産リスク管理規程」等を整備するとともに、定期的な点検・訓練や損害保険の見直し等の実施により、有形資産リスクの軽減に努めております。

風評リスク管理

風評リスクとは、当行の評判の悪化や風説の流布等により、当行の信用が低下し損失を被るリスクをいいます。

当行では、適切なディスクロージャーの実施により、経営の透明性を確保するとともに、「風評リスク管理規程」を制定し、風評発生時の対応等について定め、風評リスクの極小化に努めております。